山都町立矢部小学校　学校だより　今日は４５年前私が柔道黒帯に合格した日です

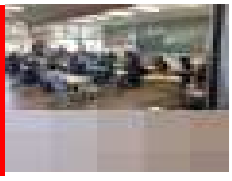
自分らしく～Be Unique～

矢部小HP　令和６年１１月１１日（月）　第２９号
２次元コード ←カラー閲覧できます

校　長　池部　聖吾智（みわとも）

公開授業のオンパレード

この２週間で本校は対外向けの公開授業を２本実施しました。１本目は１０月３０日に５年生で実施した町同和教育授業研究会。２本目は１１月８日に３年生で実施した郡教科等研小学校音楽部会授業研究会です。



私は、もともと算数が苦手でした。しかし、１人のライバル登場、担任の先生の授業中の「ある声掛け」がきっかけで得意教科に変身、あげくは数学教師にまでなりました。教師の仕事には「責任（重み）」があるのです。だからこそ、教師は「自己鍛錬」が必要です。一番効果的なのは自身の授業を公開することです。そしていろんな意見をもらいながら改善していく。これが公開授業を行う大きな意義です。

２本とも参加者から貴重な意見をいただきました。授業者にとっても学びになったと思います。

現象面だけで判断せず、その背景を考えてみる　～同和教育から学んだ～

毎朝、下馬尾交差点で交通見守りをしながら子どもたちと朝の挨拶も交わしています。中には、挨拶をせずに素通りしていく子もいます。「朝から何かあったのかな？」と考え、特に注意したりはしません。ただ、何日も続くようであれば本人に直接何回も「おはようございます」というようなことはしています。若かりし頃は、遅刻してきた子に対して「走らんかー！」と怒鳴っていましたが、ある時期から「どうしたあ？」と聞くようにしています。これは「同和教育」の学びからきています。「子どもを現象面だけで判断せず、その背景を知ろうとする」という思想です。学級担任は、学級通信にまで仕事が回らず、週末に「時間割だけ」配付することはあります！そんなときは「（先生も）余裕がなかったんだろうな。それとも体調が悪かったのかな？」と考えてみてください。現に、ＨＰ更新が滞ったときには、保護者や児童から私を気づかう言葉をもらったことが何度となくありました。そんなことができる集団は温かい集団だと私は考えます！

矢部抄

先日、ある中学校で行われた会議の帰りに、かつての同僚と会ったので少し話した。今も一緒に呑む間柄で本通信のheavy readerでもある▼話題は、先日この矢部抄でも触れた卒業生についての続報であった。「そうだったのか・・・」新たにやるせない思いになる。さらに本通信についての話題になった。「文才もあり、校長がここまで自分の思いを書くような通信は珍しい」とまで言ってくれた。この方は同僚時代から私の通信の愛読者。思いを汲んでくれる人がいるというのは本当に心強い▼「リレーマラソン」が終わったので、先週末のウォーキングでは、競技用のトレーニングをやめ、いつものインターバル速歩ウォーキングに戻した。好きな音楽を聴きながらマイペースで歩く。「そんな自分がカッコイイ」と思いながら歩いている。「ナルシスト」なんだろうな「自分らしく」生きたい！